経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

Japan Healthcare Business Contest 2023

概要資料

© Japan Healthcare Business Contest

ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト（JHeC）とは

経済産業省は、ヘルスケア産業が創出されていく基盤・環境を整備するため、ヘルスケアに関連のあるファンドや民間事業者、団体、イベント等と連携しながら、事業創出に必要な資金を供給し、優良事例の顕彰等を有機的につなげることでヘルスケア分野におけるエコシステムの構築を目指しています。

その一環として、2015年度から「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト（Japan Healthcare Business Contest（略称：JHeC）」を実施しており、今年度で8回目の開催となります。

「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト（JHeC）」は、①ヘルスケア分野における課題解決に挑戦している優れた個人・団体・企業等の表彰を通して社会の認知度を上げ、②大企業・ベンチャーキャピタル等とのビジネスマッチングを促進することで、それらの個人・団体・企業等の成長を促すことを目的としています。

© Japan Healthcare Business Contest

2022年度で開催

8 年目

第1回 2016年3月15日開催（サポート団体：15、連携イベント：9）

グランプリ：MRT株式会社
受賞後、メディア取材依頼が1年で100件超。TICADなど国際会議に多数参加。

第2回 2017年3月3日開催（サポート団体：22、連携イベント：13）

グランプリ：トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
J-Startupに選出。1st Well Aging Society Summit、CESなどで受賞。
フランスの最大手介護施設と提携しフランス進出。

第3回 2018年1月18日開催（サポート団体：33、連携イベント：15）

グランプリ：株式会社mediVR
J-Startupに選出。受賞後1年で製品が完成、医療機器として販売開始予定。
国内だけでなく欧米アジアからの問い合わせ急増。

第4回 2019年1月30日開催（サポート団体：107、連携イベント：22）

グランプリ（ビジネス部門）：株式会社カケハシ
2019年10月に26億円の資金調達が完了。（累計調達額37億円）
※アイデア部門を新設。

第5回 2020年1月23日開催（サポート団体：153、連携イベント：23）

グランプリ（ビジネス部門）：Cl Inc.
グランプリ（アイデア部門）：カイテク株式会社

第6回 2021年1月28日開催（サポート団体：127、連携イベント：18）

グランプリ（ビジネス部門）：株式会社Magic Shields
グランプリ（アイデア部門）：Syrinx 竹内雅樹 氏

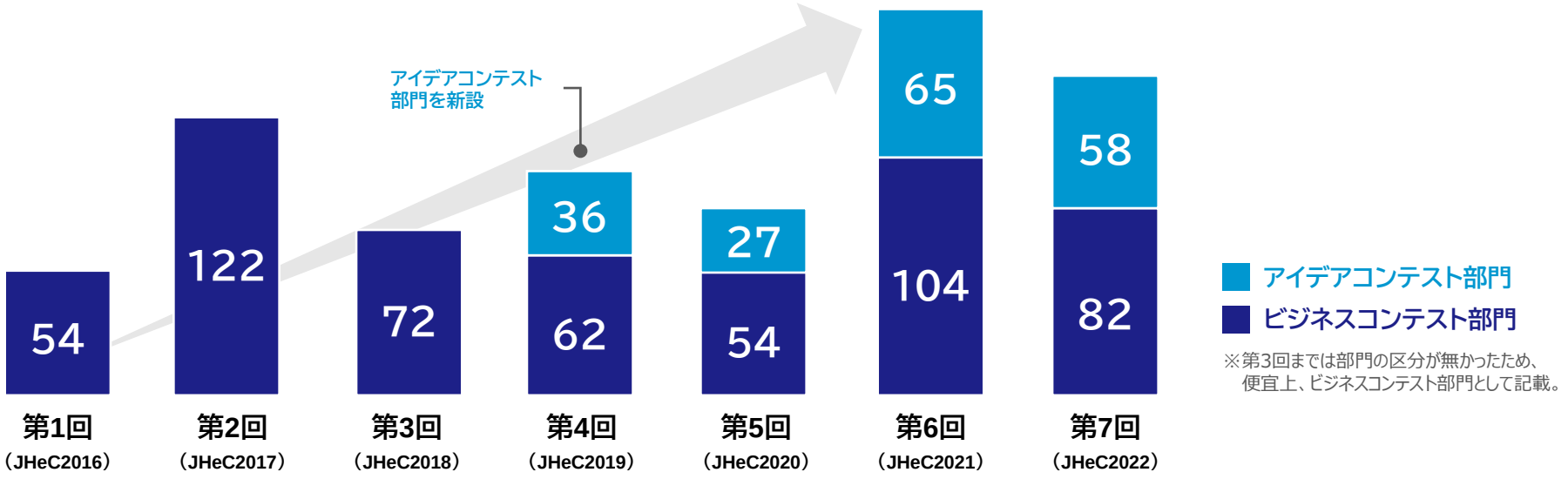
第7回 2022年1月14日開催（サポート団体：112、連携イベント：26）

グランプリ（ビジネス部門）：株式会社Raise the Flag.
グランプリ（アイデア部門）：神奈川県立保健福祉大学 稲垣大輔 氏

© Japan Healthcare Business Contest

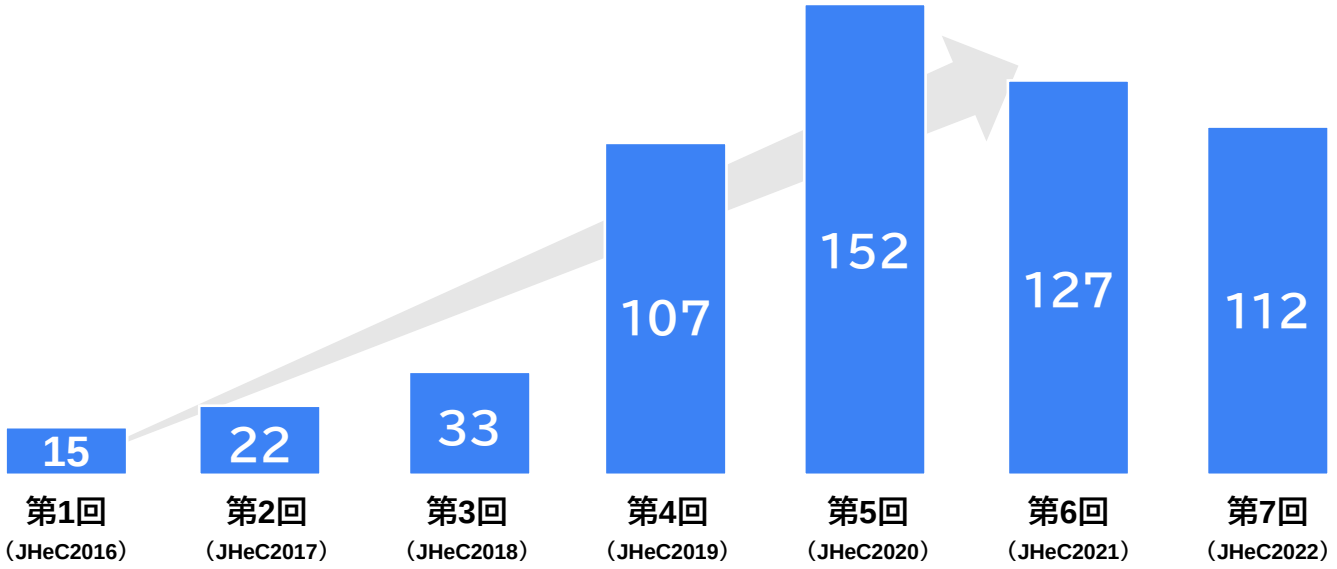
応募総数

736 件



※第3回までは部門の区分が無かったため、
便宜上、ビジネスコンテスト部門として記載。

© Japan Healthcare Business Contest



※第6回、第7回は新型コロナウイルス感染症の影響により、サポート団体関係者の活動に制限があった。第8回はサポート団体関係者もご来場可能な開催形態を予定。

© Japan Healthcare Business Contest

JHeCファイナリストの資金調達の合計

370 億円以上

株式会社ミナカラ （JHeC2016 優秀賞） ※2021年10月にNTTとメドレーへ44億円で売却	**3億円** （2020/8）
トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社 （JHeC2017 グランプリ）	**25.5億円** （2017/3～2022/1）
エルピクセル株式会社 （JHeC2017 優秀賞）	**44.6億円** （2018/10～2020/10）
株式会社O： （JHeC2017 優秀賞）	**3.3億円** （2017/12~2019/1）
株式会社メドレー （JHeC2017 優秀賞）	**145.5億円** （2017/3～2021/5）
株式会社mediVR （JHeC2018 グランプリ）	**8.9億円** （2019/12～2021/7）
株式会社iCARE （JHeC2018 優秀賞）	**40.8億円** （2019/6～2022/2）
株式会社カケハシ （JHeC2019 グランプリ）	**44億円** （2019/10～2020/10）
アンター株式会社 （JHeC2019 優秀賞） ※2021年8月にJMDCによる全株式取得でJMDCグループに参画	**2.3億円** （2020/5）
株式会社ウェルモ （JHeC2019 優秀賞）	**36.1億円** （2019/8～2020/11）
株式会社T-ICU （JHeC2019 優秀賞）	**8.7億円** （2019/10～2022/1）
株式会社ニューロスペース （JHeC2019 優秀賞）	**5.1億円** （2019/4～2019/7）
カイテク株式会社 （JHeC2020 グランプリ）	**1億円** （2020/9）
株式会社Magic Shields （JHeC2021 グランプリ）	**1.4億円** （2021/11）

IPO 2件

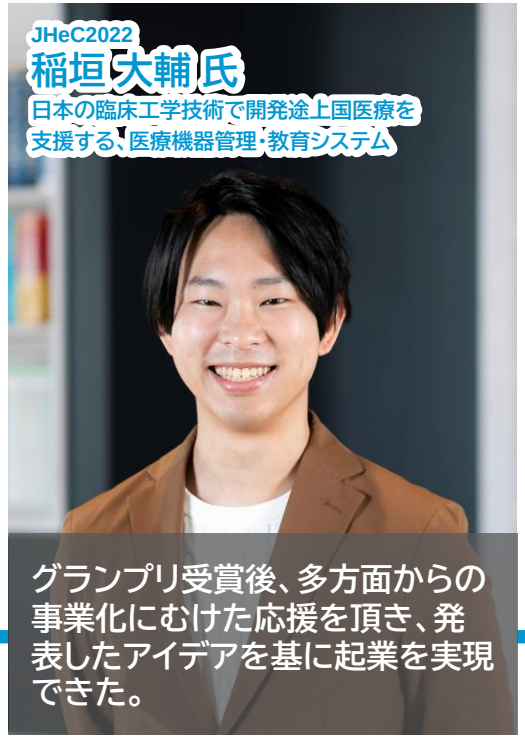
- **MRT株式会社**（JHeC2016グランプリ）：2014/12/26にマザーズ上場
- **株式会社メドレー**（JHeC2017優秀賞）：2019/12/12にマザーズ上場

※JHeCファイナリストの登壇後の資金調達状況（1億円以上の調達を抜粋）

© Japan Healthcare Business Contest

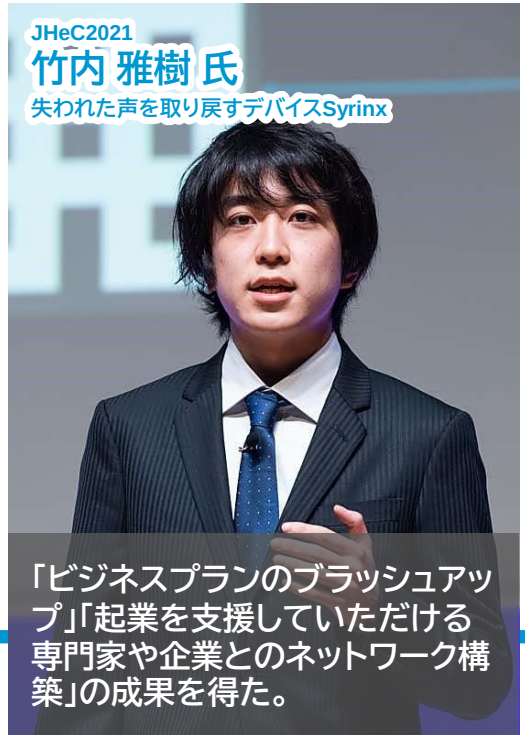
参加者の声（参加のメリットなど）

アイデアコンテスト部門



JHeC2022
稲垣 大輔 氏
日本の臨床工学技術で開発途上国医療を支援する、医療機器管理・教育システム

グランプリ受賞後、多方面からの事業化にむけた応援を頂き、発表したアイデアを基に起業を実現できた。



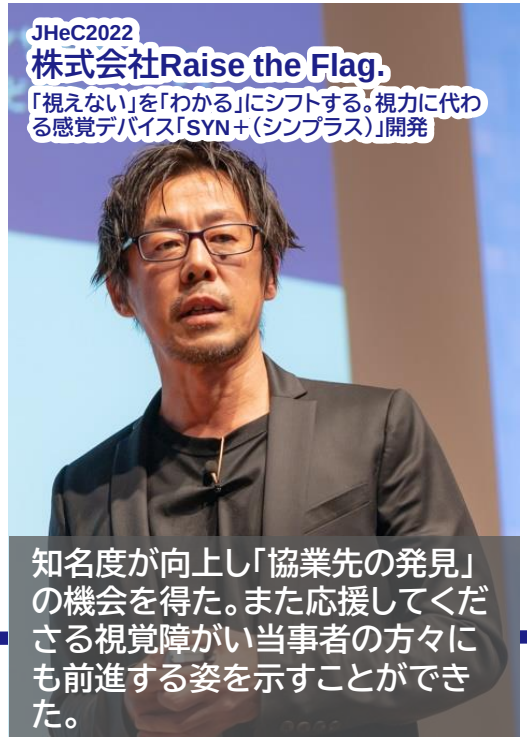
JHeC2021
竹内 雅樹 氏
失われた声を取り戻すデバイスSyrinx

「ビジネスプランのブラッシュアップ」「起業を支援していただける専門家や企業とのネットワーク構築」の成果を得た。

JHeC2020
武藤 高史 氏（株式会社カイテク）
介護ワークシェアリングサービス「カイスケ」

「知名度の大きな向上」「それに伴って事業の販路拡大が加速したことに加え、資金調達に成功」の効果を実感。

ビジネスコンテスト部門



JHeC2022
株式会社Raise the Flag.
「視えない」を「わかる」にシフトする。視力に代わる感覚デバイス「SYN＋（シンプラス）」開発

知名度が向上し「協業先の発見」の機会を得た。また応援してくださる視覚障がい当事者の方々にも前進する姿を示すことができた。

JHeC2021
株式会社Magic Shields
高齢者の転倒による骨折を防ぐための、転んだときだけ柔らかい床「ころやわ」

「知名度・信頼度の大幅な向上」「ニュース等に取り上げられたことで、販売につながった」「多様な視座の獲得」といった効果を実感。

JHeC2020
CI Inc.
病児保育室と家族をつなぐ「あずかるこちゃん」

グランプリ受賞後、2020年4月にサービスローンチすることができた。

© Japan Healthcare Business Contest

JHeC2023 募集概要

- アイデアコンテスト部門
- ビジネスコンテスト部門
- 過去の受賞タイトル・受賞者一覧
- 応募方法
- お問合せ先

© Japan Healthcare Business Contest

Japan Healthcare Business Contest 2023

アイデアコンテスト部門

応募内容

健康・医療・介護などのヘルスケア領域において、

あなたが解決すべきだと考える課題と、その課題を解決するためのアイデア

を広く募集します。

応募資格

応募時点で法人格を有しない個人
（法人所属でも個人参加は可能）

- 製品・サービスなどのプロトタイプ有無に関わらず、将来的に起業・事業化を目指している
- ヘルスケア分野における課題の解決につながるアイデアを有している

※社会人・学生（年齢）は問いません。これまで、学生の方からも多数ご応募いただきました。

審査基準

- アイデアの独自性
- アイデアの有用性
- アイデアの実現性
- 社会的課題に対するインパクト

スケジュール

応募	2022年7月6日（水） ～2022年8月19日（金）正午 締切
書類審査	2022年9月中旬 審査後に全応募者へ結果を通知
最終プレゼン審査（ファイナル）	2022年10月19日（水） 13:00～17:30 予定 会場：都内会議室（日経クロスヘルスEXPO2022内でのライブ配信を予定） ※オンラインにて一般公開
表彰式	2023年1月12日（木） 13:00～18:00 予定 会場：大手町三井ホール ※プレゼンテーションの機会を提供予定 ※一般公開、全面会場開催の予定

応募前には「応募要領」を必ずご確認ください。

© Japan Healthcare Business Contest

ビジネスコンテスト部門

応募内容

健康・医療・介護などのヘルスケア領域において、

社会課題を解決し、
ヘルスケアの未来を描き実現する新規事業

を募集します。

応募資格

応募時点で法人格を有する団体

- 法人格を有する団体・企業及びそれらに所属するプロジェクトチーム、若しくは、個人事業主
- ヘルスケア分野における社会課題の解決につながる製品・サービスのプロトタイプあるいは上市済みの製品・サービスを有している

審査基準

- 課題・ニーズ設定の的確性
- 社会的課題に対するインパクト
- 課題に対するソリューションの新規性、革新性
- ビジネスの成長性、将来性

スケジュール

応募	2022年7月6日(水) ～2022年8月19日(金) 正午 締切
書類審査	2022年9月中旬 審査後に全応募者へ結果を通知
一次プレゼン審査 (セミファイナル)	2022年10月20日(木) 13:00～17:30 予定 会場:都内会議室(日経クロスヘルスEXPO2022内でのライブ配信を予定) ※オンラインにて一般公開
最終プレゼン審査 (ファイナル)	2023年1月12日(木) 13:00～18:00 予定 会場:大手町三井ホール ※一般公開、全面会場開催の予定

応募前には「応募要領」を必ずご確認ください。

© Japan Healthcare Business Contest

JHeC2022

アイデアコンテスト部門　グランプリ
稲垣大輔 氏

日本の臨床工学技術で開発途上国医療を支援する、医療機器管理・教育システム

アーカイブ情報　紹介資料　発表動画

https://healthcare-innohub.go.jp/wp-content/uploads/2022/01/JHeC2022_アイデアコンテスト部門_04_稲垣氏.pdf
https://www.youtube.com/watch?v=qD0foUiFQiI

JHeC2022

ビジネスコンテスト部門　グランプリ
株式会社Raise the Flag.

「視えない」を「わかる」にシフトする。視力に代わる感覚デバイス「SYN+（シンプラス）」開発

アーカイブ情報　紹介資料　発表動画

https://healthcare-innohub.go.jp/wp-content/uploads/2022/01/JHeC2022_ビジネスコンテスト部門_06_株式会社-Raise-the-Flag..pdf
https://www.youtube.com/watch?v=kGogI7SpA74

© Japan Healthcare Business Contest

過去の受賞タイトル・受賞者一覧

アイデアコンテスト部門

JHeC2022

- グランプリ|日本の臨床工学技術で開発途上国医療を支援する、医療機器管理・教育システム(稲垣大輔 氏)
- 優秀賞|革新的がん検査技術の開発～汎用プラスチックでがんの恐怖を無くす～(大西徳幸 氏)
- 優秀賞|Cエレガンスを利用した新規評価手法で挑む健康素材の開発(首藤剛 氏)
- 優秀賞|学生と福祉に特化した情報サイト「musbun」～福祉体験を通して学生と福祉施設をむすぶ～(鈴村萌芽 氏)
- 優秀賞|「くうかい」若者／ヤングケアラーの未来をつくる、ケアラーをつなぐプラットフォーム(髙垣内文也 氏)

JHeC2021

- グランプリ|失われた声を取り戻すデバイスSyrinx(竹内雅樹 氏)
- 優秀賞|3Dプリント可能な人工呼吸器開発プロジェクト COVIDVENTILATORプロジェクト- #O24U(石北直之 氏)
- 優秀賞|リンパ浮腫トモグラフィック・モニタ(LTモニタ)の実用化開発(小川良磨 氏)
- 優秀賞|ウィズコロナ時代でも陽圧呼吸療法ができるパーソナル陰圧マスク: CoroPAP(重城健太郎 氏)
- 優秀賞|バイオミメティクスを応用した血管内留置カテーテルの開発(瀧澤玲央 氏)

JHeC2020

- グランプリ|介護ワークシェアリングサービス「カイスケ」(武藤 高史氏(カイテク株式会社))
- 優秀賞|10分1000円から利用できる、治療をしない予防歯科Hakara(清水章矢 氏(Hakara))
- 優秀賞|身体にやさしい心臓病治療を可能にする新規カテーテルデバイス「MAV」(三隅祐輔 氏(大阪大学大学院医学系研究科))
- 優秀賞|塩分管理をラクにする食品検索・食事管理アプリケーション「さがそると」(湯野川恵 氏)

JHeC2019

- 優秀賞|緑内障視野欠損簡易発見VR(木野瀬友人 氏)
- 優秀賞|嚥下障害リハビリの質を高める誤嚥検出センサーデバイスおよびアプリケーションの開発(原陽介 氏)
- 優秀賞|アート＆デザインからワクワクできるヘルスケアをつくろう(丸山亜由美 氏)

※全て開催当時の情報

© Japan Healthcare Business Contest

過去の受賞タイトル・受賞者一覧

ビジネスコンテスト部門

JHeC2022

- グランプリ|「視えない」を「わかる」にシフトする。視力に代わる感覚デバイス「SYN+(シンプラス)」開発(株式会社Raise the Flag.)
- 優秀賞|脳血管内手術の安全性を向上させる手術支援AI (株式会社iMed Technologies)
- 優秀賞|救急医療DXの現在の課題とその解決。将来の医療データによる意思決定実現まで(TXP Medical株式会社)
- 優秀賞|糖尿病重症化予防のための非侵襲血糖値センサーのサービス展開(ライトタッチテクノロジー株式会社)
- 優秀賞|白血病の再発を早期に発見するモニタリング検査(株式会社Liquid Mine)
- 優秀賞|人工脂肪を活用した乳房再建の実現(株式会社レナートサイエンス)

JHeC2021

- グランプリ|高齢者の転倒による骨折を防ぐための、転んだときだけ柔らかい床「ころやわ」(株式会社Magic Shields)
- 優秀賞|倉敷発ユニバーサルデザインブランドの展開(株式会社エナジーフロント)
- 優秀賞|Smart Eye Camera による眼科診断 AI と 遠隔診療を活用した新しい眼科診療モデルの構築(株式会社OUI(OUI Inc.))
- 優秀賞|2025年を展望した地域医療体制～救急往診チームの可能性～(ファストドクター株式会社)
- 優秀賞|一般社団法人日本病院会との業務提携による病院向けICTプラットフォーム事業「日病モバイル」～病院内PHSのスマホ移行と医療業務アプリケーションサービスの提供～(株式会社フロンティア・フィールド)
- 優秀賞|地域医療の専門医偏在問題の解決をE-コンサルで目指すMedii(株式会社Medii)

JHeC2020

- グランプリ|病児保育室と家族をつなぐ「あずかるこちゃん」(CI Inc.)
- 優秀賞|日本初の“アトピー見える化アプリ”アトピヨ　～アトピーはみんなで治す時代へ～(アトピヨ)
- 優秀賞|ピアサポート型習慣化アプリ「みんチャレ」を活用した2型糖尿病の重症化予防(エーテンラボ株式会社)
- 優秀賞|発達障害支援機関向けソーシャルスキルトレーニングVR「emou(エモウ)」(株式会社ジョリーグッド)
- 優秀賞|和歌山発、誤嚥の予防のために開発した器具「タン練くん」の製造販売。全国のお年寄りを助けたい。(株式会社リハートテック)

※全て開催当時の情報

© Japan Healthcare Business Contest

過去の受賞タイトル・受賞者一覧

ビジネスコンテスト部門

JHeC2019

- グランプリ|調剤薬局の薬剤師向け服薬指導支援ツール「Musubi」提供による患者さんの健康意識の増加、および薬剤師の業務効率化による薬局経営改善に寄与する事業（株式会社カケハシ）
- 優秀賞|医師同士のオンライン医療相談サービス「AntaaQA」（アンター株式会社）
- 優秀賞|人工知能と介護サービス情報プラットフォームを融合したケアマネジメントシステム開発事業（株式会社ウェルモ）
- 優秀賞|集中治療専門医集団による病院向け遠隔集中治療支援サービス（Tele-ICU）（株式会社T-ICU）
- 優秀賞|人生百年時代を拓く“脳機能維持”のための未病ソリューション（株式会社NeU）
- 優秀賞|国内初「日中の眠気の改善・マネジメント」で企業成長を支援！組織と個人を両面から支援する「唯一無二のハイブリッド式睡眠改善プログラム」（株式会社ニューロスペース）
- 優秀賞|自宅でできる！遠隔管理型心臓リハビリテーションシステム「リモハブ」（株式会社リモハブ）

JHeC2018

- グランプリ|Virtual Reality及び人工知能技術を利用したDual Task型運動リハビリテーション治療機器（株式会社mediVR）
- 優秀賞|中小企業でも大企業並みの産業衛生体制を実現できる健康経営プラットフォーム「Carely」（株式会社iCARE）
- 優秀賞|世の中から人生最大の悲しみ「孤独」を無くしたい（OQTA株式会社）
- 優秀賞|惨事を防ぐ三次予防！オンライン重症化予防「iPrevent」（株式会社PREVENT）
- 優秀賞|世界初、尿から栄養の過不足を評価するパーソナル検査「VitaNote」（株式会社ユカシカド）

※全て開催当時の情報

© Japan Healthcare Business Contest

過去の受賞タイトル・受賞者一覧

ビジネスコンテスト部門

JHeC2017

- グランプリ|排泄予知ウェアラブル「DFree」(トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社)
- 優秀賞|医療画像診断支援システム(エルピクセル株式会社)
- 優秀賞|世界初、体内時計を可視化して、睡眠を改善するサービス(株式会社O:(オー))
- 優秀賞|実年齢から『身体年齢』アセスメントによる意識革命で日本を活性化(ヘルスグリッド株式会社)
- 優秀賞|医療をもっと身近に 「MEDLEY」×「CLINICS」構想(株式会社メドレー)
- 優秀賞|スマホでできる、精子セルフチェック『Seem(シーム)』(株式会社リクルートライフスタイル)

JHeC2016

- グランプリ|遠隔診療・健康相談サービス「ポケットドクター」(MRT株式会社)
- 優秀賞|糖尿病の方とも一緒に食べられるごちそう(株式会社竹屋旅館)
- 優秀賞|自宅で薬剤師に相談しながら薬を手に入れられるWEBサービス「ミナカラ」(株式会社ミナカラ)
- 優秀賞|赤外線センサーを使用した無接触・無侵襲の体動検知装置を装備した医療機器・介護機器の製造販売(株式会社イデアクエスト)
- 優秀賞|高齢者と家族の関係を深める「会話サービス」と「親史作成サービス」(株式会社こころみ)

※全て開催当時の情報

© Japan Healthcare Business Contest

応募方法

募集締切 ｜ 2022年8月19日（金）正午

応募方法 ｜ JHeC2023ウェブサイトより応募

https://healthcare-innohub.go.jp/jhec2023

STEP 1

JHeC2023ウェブサイトより「応募要領」「エントリーシート（ES）」をダウンロードする。
※JHeC2023ウェブサイトはInnoHubウェブサイト内にあります。

STEP 2

応募要領をよく確認し、エントリーシートを作成する。
※エントリーシートはMicrosoft Word形式です。

STEP 3

JHeC2023ウェブサイトの応募フォームより、エントリーシート（ES）を提出する。
※応募フォーム送信後、自動受付メールが届いたら応募完了です。
　9月中旬頃予定の審査結果の連絡をお待ちください。

応募に関してご不明点等がございましたら、遠慮なくJHeC事務局（ jhec_info@ml.mri.co.jp ）までお問い合わせください。

© Japan Healthcare Business Contest

お問合せ先

イベント全般について

ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト2023
事務局

E-mail:

jhec info@ml.mri.co.jp

政策的背景等について

経済産業省

商務・サービスグループ ヘルスケア産業課

E-mail:

venture-healthcare@meti.go.jp

© Japan Healthcare Business Contest